
結局はすり替え。

ロースト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

結局はすり替え。

【Nコード】

N4028M

【作者名】

ロースト

【あらすじ】

全てが戯言に過ぎる。

なんだかんだ並べ立てても結局言いたい事は唯一つである。
死んでしまった”彼”のことなんか同情的に持ち出したに過ぎないんですよ。

いちごは好きですか？

私はいちごが大好きです。彼もいちごが大好きです。…でした。というべきなのでしょう。というのも、彼は死んでしまったからです。

まあ、話が少しずれてしまいましたが：私がいちご好きなのも、彼のせいです。せいという言い方は変ですね、えーと、じゃ、おかげです。かな？というのも、彼と私が出会ったのはいちごのおかげでした。その時の私はそんなにいちごが好きというわけではなかったけど、彼が好きだったから好きになりました。

でも、いちご大好きな私は子供なのです。だって、いちごに嫉妬してしまうような子だから。ホント私って嫌な子だな。

で、また話がずれちゃいましたね。今も私はいちご好きです。彼がいなくてもいちごは大好きです。というより、彼がいなくなつて余計にいちご好きになりました。だって、彼が好きだったものだもの。なら、好きにならなきゃだめじゃない。言つとくと、強迫観念とか、そういうわけじゃないよ。ただ、彼が好きだから、彼が好きだったものを私も好きになりたいんです。わかりますか、そういう女心。

彼が好き。いちごも好き。いちごが好き。彼も好き。どちらが正しいのか、それとも両方なのか、はたまたどちらでもないのか…。そんなのはあまり関係ないですよ。ね。なら、どちらでもいいと思います。（どれでも）

ただ、彼が好きだったものを私も好きになりたいんです。だって、じゃないと証明できないもの。彼が好きだったものを証明できないから。だから、皆にもいちご好きになつて欲しいんです。

ということ、いちご同好会に入部しませんか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4028m/>

結局はすり替え。

2010年10月9日04時40分発行